

70万6千7百7円。 5月～6月

お一人お一人の、その心に対し、感謝に堪えません。

「支え合い、新しく生きる」

本年度のD学院中高の特色行事テーマです。



2011.5.24 産経新聞「被災地からのメッセージ」に掲載された写真です

三越前・フォーラス前・グッチビル前にてボランティア同好会の街頭募金

5月22日(日) 12:00～14:30 参加生徒 23人 募金額 209,471円

5月29日(日) 12:00～14:30 参加生徒 19人 募金額 171,426円

6月12日(日) 10:30～13:00

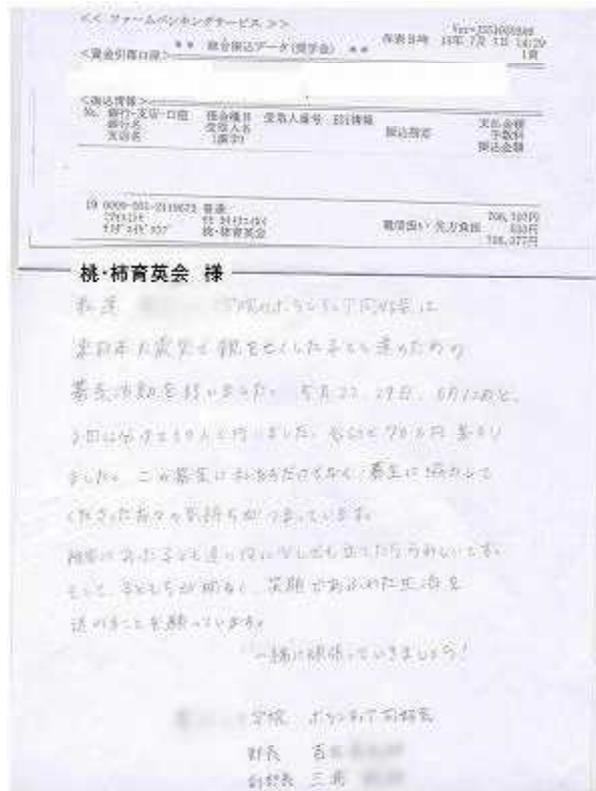
13:00～15:30 参加生徒計28人 募金額 287,378円

5月30日(木) 中高マリア祭献金

38,432円

合計額 706,707円

このお金を、「桃・柿育英会」(東日本大震災遺児育英資金)に送金いたしました。



実にたくさんの方たちに支えられた生徒たちの募金活動でした。
 生徒たちは時間中、声をからして訴え叫び続けました。
 声を合わせた音色に「天使の声のようだね」と言って行く方あり。
 アメだのお菓子だのをわたして「これを食べながらしなさい」と言う方あり。人数分のケーキを買ってきておいて行く方あり。……驚くばかりです。
 最初の頃「ちゃんと喪章をつけてやりなさい。」と言うお叱りのご指導を頂いたことも。
 募金活動の時間が終わり顧問が箱を回収しに行くと、生徒たちは「私まだしていなかった」と言って自分の募金箱に最後に自分のお金を入れていました。
 私たちは、できることをこれからもしてゆきます。

(同好会顧問■高橋 覚)



ボランティア同好会は現在1年生27名、2年生5名、3年生29名、計61名います。今年度の活動の柱は①ホームレス自立支援炊き出しボランティアへの毎月定期参加と、②震災ボランティアです。特に②は息長くできることを探し考えながら進めてゆきたいと思います。まず募金活動で街に出ました。部員たちはグループに分かれて、それぞれ自分たちの使う募金箱と横断幕を作り、当日はそれを持参しました。



天気が雨だったので、募金をしてくれる人があまりいないのではないかと考えていましたが、私たちの声に耳を傾けてくれた人がたくさんいたし、子供連れの方々が多かったのうれしかったです。この募金が親を亡くした子供たちのために早く役立ってほしいと思います。(3年)





毎回そうですが、ボランティア活動は本当に元気や勇気をもらいます。小さい子供から大人までいろいろな方が募金に協力してくれました。「頑張って」と一声かけてくれたりと、人のあたたかさを感じた一日でした。またぜひ行ってゆきたいです。(3年)



初めて募金活動をして、仙台の人たちも被災者なのに、たくさんの方が募金をしてくれて感動しました。大きな声で募金活動したら、頑張ってねって通行人に言われてすごくうれしかった。(1年)

2回目の募金活動は前回よりも声が出せたと思う。「私も被災者で、津波で家流されたの。」とか言いながら募金をしてくれて、なんかとてもうれしかったです。自分も辛いのに人のこと考えられて…。こどももたくさん募金してくれました。(2年)



私は2回目の募金活動でした。先輩が引っ張ってくれて頼もしかったです。募金をしているときに知らないおじさんにシウクリームをもらいちょっとビックリしたけど、応援してくれてると考えたらうれしくなりました。(1年)